

次世代にも暮らしやすいまちづくりを考える シンポジウム

つくる時代から引き継ぐ時代へ

学生・社会人
子育て世代の
参加大歓迎!

前橋の子どもたちが大人になったとき、どんなまちであれば、引き続き住みたいと思えるでしょうか？
人口減少が本格的に進行するなか、現世代にも、そして次世代にとっても暮らしやすいまちづくりが求められています。
本シンポジウムでは、こうしたまちづくりの重要な土台となる「土地利用のあり方」やそのための都市政策を紹介します。
次世代にも暮らしやすい前橋の未来について、みんなで考えましょう。

① 基調講演 18:10~18:50

現役世代から次世代まで住み続けるための「まちの体質改善」



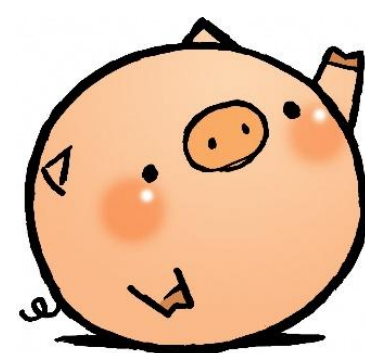
松川 寿也 氏

長岡技術科学大学 准教授

専門は土地利用計画。博士(工学)。
新潟県生まれ 国土交通省土地の取得・利用等の在り方に関する
有識者会議構成員、新潟県都市計画審議会委員、新潟県にぎわい
のあるまちづくり審議会委員、など多数の委員を務める。
主な著書は、「自治体における水害多発時代の流域治水(第一法規)」、
「都市縮小時代の土地利用計画(学芸出版社)」など。

② 話題提供 18:55~19:10

次世代にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けて
「まちの代謝力アップに向けた施策への転換」



前橋市都市計画課

暮らしを支える機能をつなぎ、次世代にも暮らしやすいまちづくりの実現に向けた前橋市の土地利用のあり方を紹介します。

これからの前橋の暮らしとまちの未来を、一緒に考えてみませんか。

③ 会場参加型 トークセッション 19:15~20:00

まちづくりについて来場者とパネリストが一緒に考え、意見交換する参加型トークセッションです。

コーディネーター

野澤 千絵 氏

明治大学政治経済学部 教授



専門は都市政策・住宅政策。博士(工学)。大阪大学大学院修了後、民間企業を経て、東京大学大学院修了。東洋大学理工学部建築学科教授等を経て、2020年度より現職。
(公社)都市計画協会理事。国・自治体の都市政策・住宅政策に関わる多数の委員を務める。
主な著書は、『マンション高騰の真実-都市部の非居住化が街を壊す-』、『2030-2040年日本の土地と住宅』(いずれも中公新書ラクレ)、『老いた家 崩れる街-住宅過剰社会の末路』、『老いた家 衰えぬ街-住まいを終活する』(いずれも講談社現代新書)など。

パネリスト／松川 寿也 氏、音瀬 肇 氏、幕田 早紀 氏、小川あきら



音瀬 肇 氏

国土交通省 都市局
都市計画課 企画専門官



幕田 早紀 氏

群馬工業高等専門学校
環境都市工学科 助教



小川 あきら

前橋市長

お申込みはこちら

締切:10月14日(水)



定員 **70** 名 参加無料

前橋の未来を、みんなで考えよう。

みんな de シンポジウム

..... お子さんと一緒に参加できます

子連れ
OK

ベビーカー
OK

入退場
自由

泣いても
OK

2026

10.16[金]

18:00~20:00
(開場 17:30)

会場

JOMOスクエア
古市町1-50-21

会場へは公共交通をご利用ください

【主催】前橋市 【共催】群馬県、群馬県都市計画協会
【お問合せ先】前橋市都市計画部都市計画課都市政策係
tel:027-898-6943 mail:toshikeikaku@city.maebashi.gunma.jp